

氏名	小林 由佳
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3009 号
学位授与の日付	平成17年6月30日
学位授与の要件	医歯学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Relationship between two job stress models and coronary risk factors among Japanese part-time female employees of a retail company (日本人パートタイマーにおける仕事のストレスと虚血性心疾患リスクファクターとの関連)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 佐野俊二 助教授 山村昌弘

学位論文内容の要旨

本研究では、日本人女性パートタイム労働者において、二つの主要な仕事のストレスモデル（ジョブ・ストレインモデルと努力-報酬不均衡モデル）と虚血性心疾患のリスクファクター（血圧；総、HDL、LDLコレステロール；中性脂肪）との関連を検証した。

対象者は、ある小売業の4時間/日勤務の女性パートタイム労働者のうち、定期健康診断対象者（35歳もしくは40歳～63歳）とした。健康診断と自記式調査は2002年に実施され、欠損値のある者を除いた解析対象者は140名であった。

交絡要因（年齢、肥満率、喫煙、飲酒、運動、教育、婚姻状態、子供の有無、治療の有無、職務内容）を調整した解析の結果、努力/報酬比の高いグループは低いグループよりもHDLコレステロールの低い者が多かった（オッズ比4.4）。また、関連は弱いものの、要求度/コントロール比の高いジョブ・ストレイングループは低いグループよりもHDLコレステロールの高い者が多かった。

本研究では、女性パートタイマーに努力報酬不均衡と低HDLコレステロールの強い関連が見られた。しかし、ジョブ・ストレインモデルが虚血性心疾患リスクファクターと好ましくない関連を示すという仮説は支持されなかった。

論文審査結果の要旨

本研究は、日本人女性パートタイム労働者を対象として、ストレスモデル（ジョブ・ストレインモデルと努力-報酬不均衡モデル）と虚血性心疾患のリスク因子（血圧、総コレステロール、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪）との関連を検討したものである。本研究は、努力/報酬比の高いグループではHDLコレステロール値が低いことを明らかにし、従来十分確立されていなかった日本人女性パートタイム労働者における仕事のストレスと虚血性心疾患のリスク因子の関連性に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。